

日米豪首脳会談 共同メディアリリース

仮訳

トニー・アボット豪州首相、安倍晋三日本国総理大臣及びバラク・オバマ米国大統領は、2014年11月16日、オーストラリアのブリスベンにて、G20首脳会合の機会を捉え会合を行った。

三か国の首脳は、平和で、安定かつ繁栄した未来をアジア太平洋地域において確保するため、日豪米三か国間のパートナーシップを深める決意を表明した。三首脳は、このパートナーシップが、民主主義、開放経済、法の支配及び紛争の平和的解決へのコミットメントを含む、共有された利益と価値という揺るぎない基盤に依ることに留意した。

三か国の首脳は、三か国の協力が全世界にわたるものであること及びアジア太平洋地域における包括的な米国の関与の価値を再確認した。三首脳は、ISILの脅威を弱体化し最終的に除去し、外国人戦闘要員によりもたらされる脅威に対処すること、西アフリカでの致死性エボラ出血熱ウィルスの流行を終結させること、ロシアによるクリミア半島の併合といわれるものやウクライナ東部を不安定化させる行動に反対し、マレーシア航空機の墜落に対して責任を有する者を処罰することなど、差し迫った諸問題に取り組むことを決意した。三首脳はまた、北朝鮮の核・ミサイルの脅威を除去するとともに、拉致問題を含む北朝鮮の人権問題に対処すること、航行及び上空飛行の自由並びに仲裁等の法的枠組みを通じることを含め、国際法に従った海洋をめぐる紛争の平和的解決を確保することを含め、地域における協力の力強さを強調した。

三か国の首脳は、既に強固な三か国の安全保障・防衛面の協力を深化させるとともに、三か国の共同訓練、海上安全保障分野のキャパシティ・ビルディング及び海洋一般に関する意識向上、特に女性に対する暴力の防止の分野における平和維持に関するキャパシティ・ビルディング、地域全体における開発援助協調の強化、人道支援及び災害救援、サイバー分野のキャパシティ・ビルディング、防衛装備品及び技術についての強化された協力を通じ、国際的な懸念に対処し地域の安定を促進するための3か国の結集された能力を強化する強い決意を表明した。三首脳は、これらの実現に向けたこれまでの作業を歓迎するとともに、これらの分野全てにおける三か国の協力を拡大するよう、それぞれの政府に指示した。

三か国の首脳は、持続的、包摂的で強靱な成長と繁栄、自由貿易、インフラ開発とエネルギー効率化を含む投資を促進するため G20、APEC、EAS 及びその他の地域的枠組みにおいて協力することを含め、アジア太平洋地域における力強く持続可能な成長及び繁栄を促進するため、三首脳同士及び地域のパートナーと協働していくことを決意した。

(了)